

CASBEE とっとり

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(緑建築)2009年版

■使用評価ソフト: CASBEE-NC 2009(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	シニアマンションこうやまち岩号館	階数	地上7F
建設地	米子市	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	90人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年3月 予定	評価の実施日	2010年6月6日
敷地面積	1,872 m ²	作成者	古杉 淳
建築面積	678 m ²	確認日	2010年6月9日
延床面積	3,217 m ²	確認者	笠岡 範之

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 大項目の評価(レーダーチャート)	2-3 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート
<p>BEE = 1.2 ★★★★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>		<p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 4.2
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.9 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合 限られた条件の中で高齢者が無理なく快適に生活できる場の創設を目指す。		
Q1 室内環境 断内全体を基礎とし、各居室は十分な開口面積を確保することにより、自然採光、自然換気等良好な環境の確保を目指す。		その他 (注) 上記の8つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能とCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q2 サービス性能 空間の余裕がある居室寸法を確保した。	Q3 室外環境(敷地内) まちなみ・景観に配慮した配置計画とした。	
LR1 エネルギー 東西の居室の開口部を通した自然通風を期待している。	LR2 資源・マテリアル 仕上げ材料の一部をリサイクル材としている。内装材は有害物質を含まない材料で構成している。	LR3 敷地外環境 必要な駐車庫、駐輪場を確保し、交通負荷の抑制に留意した。

4 重点項目		
重点項目	得点	取組み度
県産材利用の推進	1点 / 15点	
鳥取県認定グリーン商品利用の推進	点 / 25点	
自然エネルギー変換利用の推進	点 / 25点	
敷地内緑化の推進	10点 / 25点	
合計	11点 / 90点	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと